るのではないか。すでに痴漢等の事件が再三起きている。対応はいつも後手になっており、事故が起きない前に十分対策が講じられないものか。

村…総合的に判断すると小杉、藤山間の通勤、通学者が多いことから五十六年度設置を予定した。しかし電柱は共同防除の障害になるので十分検討していく。痴漢問題の対応として、学校と協議して、

①複数帰宅を

②一人で帰るようなとき先生が送る

③防犯ベルのあっせんなどをきめている

2. 小杉分館が老朽化している。今後村として分館の建物をどう対処していくのか。学校統合によって学区はなくなったのではないのか。藤駒に分館をつくれないか。

村…小杉学区の公共施設の再整備をしたい考えである。近い将来児童館と分館を関連づけて整備していきたい。旧学区がいつまでも残ることは社会情勢にそぐわない。社会教育は、地域に相応しいものでなければならない。同様なことが木津、二本木地区にも考えられるので検討してみたい。

このほか不燃物ゴミの埋立地の不法投棄の対策を。赤道の改修計画は。第二期減反が来年から始まる。村独自の対応策はないのか。等々が話題となりました。

20年目を迎えた 美浦村との青年交流会

親子二代の参加も

昭和三十六年から続けられている茨城県美浦村の青年と当村の青年との交流会が十一月二十二日から二十四日の二泊三日の日程で、横越村公民館を中心会場に開催されました。

美浦村の青年一行三〇名は二十二日早朝五時に新潟入りし、市内、北方文化博物館、瓢湖と見学したあと、公民館で地元青年会員、渋谷村長さんなどの歓迎を受けました。

アトラクションでは、青年団活動を描いた映画「同胞（はらから）」を鑑賞し、分宿先（民泊）に入った。分宿先では、家族の方となごやかに交流が行なわれていました。

二日目は、午前中、県青少年研修センター指導員よりレクリェーションを指導して頂き、午後からは、地元青年たちと、自由交流がなされました。

三日目は、歓送会が行なわれ、来年二月には美浦村での交流会に再会を約束して交流会の日程を終えました。

この青年交流会も今年度で、二〇年目を迎え、第一回の交流会に参加した青年も現在では、父親母親となっており、今回その息子さんが参加され、二世代に渡っての交流会参加に関係者は喜んでいました。

分宿先で家族となごやかに交流が行われました

冬期間のごみ・し尿の収集

12/1～3/31 一部廃止

冬将軍がすぐそこまで来ています。この降雪時におけるごみ収集及びし尿収集についてお知らせいたします。

ごみ収集は、可燃物週二回、不燃物は月三回収集を行っておりますが、十二月一日から翌年三月末日まで除雪及び道路巾の関係で一部場所の移動又は廃止をいたします。（区長を通じ関係者に通知）又、収集がスムーズにできるようごみ収集所の確保（除雪等）に地域の皆さんのご協力をお願いします。

また、これからの年末年始は、ごみの排出量が増大しますので収集所が乱雑しやすいので、排出日を正しく守り整理整頓につとめましょう。

し尿のくみとりは、なるべく降雪前に済ませておくようにし、雪が降った場合は、車が出入りできるよう除雪をしておいて下さい。十二月は汲みとり依頼が大変多くなりますので、依頼してから数日はかかる見込です。

§おしらせ§ 農地の小作料について

統制小作料が廃止され、昭和五十五年十月一日から標準小作料に移行されました。

標準小作料とは、農地法により、農業委員会が定めるもので、農地から得られる粗収益と生産費用等の計算を行ない、得られた額を貸し手、借り手の代表と学識経験者などが入った小作料協議会にはかり、十分検討したうえで決めるものであり、地域の実態に合った、適正なる小作料の目安となるものです。

本年度は、標準小作料の改訂の年に当り、農業委員会は現在準備作業を進めておりますが、来年二月ころ新標準額が決まる予定です。

今年まで、統制小作料によって契約していた人も、また標準小作料にもとづいて契約した人も、すべて新標準額を参考に、地主と耕作者双方の話し合いによって決めることになります。

駅伝大会 女性チーム初参加

沢海クラブが優勝

第三回村内一周駅伝マラソンが十一月三十日公民館主催で行なわれ、沢海チームが一時間九分九秒の好タイムで優勝しました。

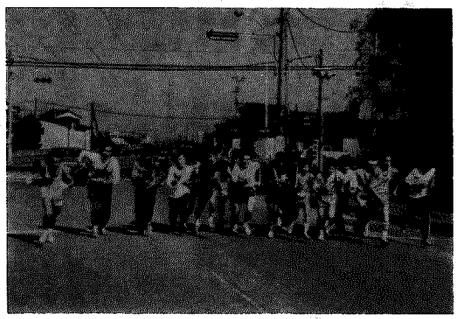
冬将軍到来を目前に青空いっぱい広がる小春日和を感じさせる中、昨年より五チーム多い十七チームが午前十時四十五分横越農協前を一斉にスタート、村内一周二十三キロメートルを、一チーム七名でゴールをめざして走りました。沢海クラブが二位の横越中学陸上Aチームを一分四十五秒の大差をつけてゴールイン、今大会最年少小学六年生の角田清君がアンカーと大健斗してテープを切りました。

今大会では、初の女性チーム横中陸上藤田広恵さん等二年生七名の出場。大会のふんいきがグーンと盛り上りました。

優勝　沢海クラブ　1時間9分9秒

二位　中学陸上A　1時間10分54秒

三位　横下スポーツクラブ　1時間12分23秒



横雲抄

一九八〇年もいよいよあと残すことわずかになって来た。毎年のことであるが、年の瀬となると何かしらバタバタあわてしまう。年が始まれば、終わるのはあたりまえであると思うが、やはり一年三百六十五日の最後と云う訳で、あれも、これもと、何とか、しめくくりをつけて新しい年を迎えたいと思うのが人情である。我々も生まれ出たからには、必ず死と云うものに出逢わなければならないと承知はしているものゝなかなか死がせまった身内や、知人に出逢うと、やはり気ぜわしくなる。年を越すのは、無理しても、無理しなくとも越せるけれども、死と云うものはそんな具合にはいかない。年の瀬の十二月は越してしまえば新しい年になるが、死は越してしまえば、年の瀬のようにはいかない。年の暮になると、老人の方が「マタ年を取らねばならない」。「年を取って駄目になった」。と、云う言葉を耳にするが、これも又、人間誰れしも通り抜けることの出来ない道であるのだから、今の中に老（オイ）をなんとか〝駄目〟と云うようにかたづけないで、張り合いのある老にしたいと思っていた所〝長寿数え歌〟と云うものを聞き一人胸に納めておくのもと思って―。

一、人は誰でも年をとる
　豊かな老後を考えよ
二、不老長寿の妙薬は
　くよくよしないで暮す事
三、身なり肌着はこぎれいに
　不精不潔じゃもてやせぬ
四、嫁としゅとは助け合い
　ゆずり合う気にとげはない
五、医者の指示に従って
　健康管理を忘れるな
六、昔話もいいけれど
　今の時代もよく知ろう
七、何か打ちこむ趣味をもて
　あすに希望がわいてくる
八、やって見ようと何事も
　億せずこまめに根気よく
九、恋を語ってわるくない
　若い心を失わず
十、共に皆で話し合おう
　一人ぼっちはふけるもと

一九八〇年も暮れ、そして新年を迎えます。いろいろな思い出を残して、そして、より良いお年をお迎え出来ますよう心からお祈り申し上げます。（山崎）

才須さんの愛犬 ロッキー 見事日本一チャンピオン

去る十一月三日東京で開催された一、九八〇年単犬種総合本部展のCクラス（ベビークラス）で、二本木の才須吉博さんの飼っているドーベルマン（呼名、ロッキー・生後四カ月半・雄）が見事チャンピオンになりました。

この大会は、日本ケンネルクラブが毎年開催しているもので全国各地から名犬が集りプロポーション、走る姿、歯並び、虫歯の有無まで審査対象となるというきびしい審査です。このロッキー君、父はアメリカチャンピオン、母は日本のチャンピオンという血統の良い犬です。

一日の食事は、肉一kg、牛乳大型パック一箱、ドッグフード。一カ月の食費だけでも三万円はかかるそうです。

才須さんは、大の犬好きでロッキー君は、目の中に入れても痛くないほどの可愛がりようです。

人権擁護委員増員 渡辺泰脩氏が就任

このたび、小杉の渡辺泰脩氏が、法務大臣の委嘱をうけ人権擁護委員に就任されました。

いままでは、川根谷内の岩橋光御氏だけでしたが、今後はこの二名の方が相談相手になってくれます。

人権擁護委員は、国民に保障された基本的人権を擁護し自由人権思想の普及高揚を図るため、各市町村におかれています。住民の皆さんが私的制裁、村八分、差別待遇等の問題でお困りの場合は、お気軽に左記へご相談下さい。

記

◎岩橋光御氏（妙泰寺住職）
川根谷内　電話二三〇七番
◎渡辺泰脩氏（妙伝寺住職）
小杉中　電話三一六二番